

市民活動をFMラジオで発信！！ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第12回：2016年4月24日（日）

○ゲスト：市町会連合会理事、水木在家町会長
三上 久志さん



三上さん（奥）

○放送内容

ラジオ当日も、朝から町会活動をされていたという水木在家町会長三上さん。

最近の水木在家の状況や、これからの町会というものに対する思いを語っていただきました。

□ 気づかなかった魅力も

岩木山を真っ直ぐに望むことができ、ほんとに自然らしい景色を堪能できる相馬地区水木在家。そんな水木在家にあるロマンТПピアには、関東からの来客も。旅行者からの「子どもを連れて木陰で弁当を食べることができるのが良い!」、「マンションが無い!」、「その辺に普通にフキノトウが生えてる!」との声に、自分では気づかなかった魅力を知ったという三上さん。

そんな水木在家の魅力で新規の定住者もいるようで、「周りが暗くて星がきれいに見えるから『星と森のロマンТПピア』ということで天文台も造った、これも上手く宣伝していけたら」と今後の展望も。

□ みんなで考えて、みんなで助け合っていく

先日の強風で、民家に倒れ掛かった樹木を町会のみみんなで片づけてから、ラジオにきたという三上さん。「倒木のような、そういう管理で自分のところで身に余ったこととかあれば、相談してもらえれば、町会で対応できるものはみんなで考えて、みんなで助け合っていくというのが根本ですよ。」、さらに「今、高齢化が進んでるから、老人クラブとかああいう感じのものでも、やっぱり町会がやっていかなきゃいけないんだと思うんですよ。引き籠りの老人の問題も今結構ありますんで、高齢化して家から出れないとか、そういうのも町会の活動の中に入れていってというのが現状ですよ。」と町会の役割や活動についても。

四月の初めに行われた『春の町会加入促進キャンペーン』にも参加した三上さんは、「やっぱり町会に加入することで、絆が出来てくと思うんですよ。暮らしていくっていうと、みんな周りの人に助けられたり助けたりしていく、そういう絆が一番町会に必要なと思う。町会に入ってもらえることがきっかけで友達も増えるだろうし、若い人は特にこれから町会に加入してほしいと思いますね。」と町会への加入もアピールしていました。